

新潟は12位

第13回東日本本部 マラソン大会開く



NO. 649
発行
08・11月30日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
守橋久仁雄
編集責任者
教宣部

マラソンクラブ NRU新潟

参加選手

駅伝チーム

- 走者 近藤 努 (長岡運転区)
- 走者 岡 聡 (新潟運輸区)
- 走者 五十嵐 望美 (家族)
- 走者 中村 信也 (直江津運輸区)
- 走者 坂井 健郎 (新潟運輸区)
- 走者 荒井 聡 (新潟運輸区)

個人マラソン 安田 武至



開会式では、伊藤委員長などあいさつが行われ昨年優勝の長野地本の選手宣誓がありました。



第十三回東日本本部『マラソン大会』が十一月十五日東京・皇居外周で開催されました。昨年は土砂降りの雨で大変な大会でしたが、今年の大大会は天候に恵まれ素晴らしいマラソン大会になりました。

個人マラソンは十二時にスタート、安田さんが出場しました。安田さんはマイペースで力走しました。



全体で十八チーム参加で個人マラソンは六十四名が参加しました。個人マラソンは五キロで、駅伝は第一走者と第六走者が五キロを走り、その他は二・五キロを走ります。

18チーム参加



中村さんは、ひとり抜いて八位で第五走者・坂井さんへタスキをつなぎました。坂井さんはアンカーの荒井さんへ九位でタスキをつなげる素晴らしい力走でした。第六走者の荒井さんは健闘し十二位でゴール、最後までタスキがつながりました。



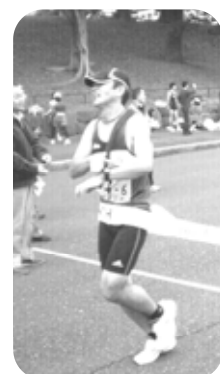
駅伝は十三時からスタートしました。第一走者・近藤さんは十位で第二走者の岡さんにタスキをつなぎ岡さんは健闘し五十嵐さんに十一位でタスキをつなぎました。第三走者・五十嵐さんは二人抜いて第四走者・中村さんに九位でタスキをわたしました。



祝勝会では、五十嵐さんが司法試験に合格しましたのでマラソンクラブ全体でお祝いしました。おめでとございしました。



全員ケガも無く無事にゴールしました。今年は雨が降らず晴れて素晴らしいマラソン大会だったと思います。ご苦労様でした。表彰式の後、祝勝会をささやかにい来年の大会に向けて目標を語り合いました。来年こそ入賞をめざしがんばりましょう。



ゴール

1047名解雇撤回！ 早期全面解決をめざす 12.7新潟県集会

22年目に入った「JR不採用事件」は、今年7月の鉄建公団控訴審において南裁判長が「裁判外での話し合い解決」の提案を行い、当時の冬柴国交大臣は、「職権の中で出来ることは誠心誠意解決に向けて努力する」と発言し、鉄道運輸機構も条件付きながらも協議に臨む態度を明らかにしました。

これは、この間の「4者4団体」の団結を基礎に、裁判や大衆行動の強化、それに政治対策や全国770の自治体決議など、被解雇当事者・国労はもとより支援の仲間の皆さんの力の結集で勝ち取ったものです。

私たちは、基本要求の実現をめざし、政府・鉄道運輸機構に解決を迫ると同時に、東京高裁の判決を求める決意を強め、あわせて、世論を喚起していかなければなりません。

10月24日の中央大集会は雨天にも関わらず、11,200名の参加で成功いたしました。新潟においても、最終局面での勝利に向けて、多くの皆さんの参加で集会の意義を、大きく地域に広げる決意です。

日時 ・ 2008年12月7日（日）13時開場 13時30分開会

会場 ・ NSG学生総合プラザ4階
(新潟駅南 弁天橋手前右手)

集会内容 ・ 記念講演 加藤晋介弁護士
(鉄建公団訴訟主任弁護士)

被解雇者の訴え

函館、音威子府各闘争団員、全動労争議団

参加費 ・ 無料

主催・12.7新潟県集会実行委員会



成功せよ

